

令和5年度 第1回学校評価のご報告

木々の葉も色づき、一段と秋の深まりを感じる頃となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。7月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

自ら考え、夢に向かって、積極的に行動する子の育成
～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども
「と」ともだちを大切にできる子ども
「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども
「ち」チャレンジしながら、考えて話せる子ども

概要

本校では、「自ら考え、夢に向かって、積極的に行動する子の育成」という学校教育目標を受け、今年度は『対話力』『挑戦力』の育成に基づく『主体的・対話的で深い学び』の充実」という研究主題で教育活動を進めています。昨年度までは、「発信力」と「対話力」に重きを置きコミュニケーション能力を高める研究を行ってきました。今年度は、引き続き「対話力」を重点に置きながら、あわせて「挑戦力」にも力を入れて、「進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める子ども」を目指しています。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像(も・と・ま・ち)に照らし合わせて、評価項目を「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「学校独自の取組」と設定しました。今年度、保護者への尋ね方を、「～するようにお子たちにお声かけいただいていますか」から「お子さんは、～していると思われますか」という表記に変更しました。「子ども」について皆で見えていくという視点をもつことで、子どもの実態をより明確にしていこうというねらいです。よって、同じような内容ですが、尋ね方が異なるため、昨年度までと純粋に比較できない項目も出てきています。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。自分の行動をふり返り、前向きに取り組むことができていることを意識できる機会となったのではないのでしょうか。

保護者アンケートは、今回からスクリレからオンラインで回答していただきました。スクリレに登録されていない方には、紙文書でお渡しさせていただきました。昨年度に比べて、回収率は74%と、下がりましたが、全体を通して、ほとんどの項目で実現度は80%以上でした。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

「教職員自己評価」については、多くの項目で実現度は80%以上でしたが、実現度が低い項目もありました。今後の教育活動の取組内容や方法等について検討を重ねていきたいと思います。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後も皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にしたいと思っています。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。第2回学校評価は、12月中旬に予定しています。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』『だいたいできている』を合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R4	R5	R4	R5	R4	R5
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	92%	94%	98%	94%	94%	100%
	2	進んであいさつをする	91	97	92	79	83	100
	3	色々なことにチャレンジしようとしている		90		83		94
(確かな学力) もっと学びたいと思える子ども	1	授業中に学習のルールを守る	92	92	84		100	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	92	90	81	97	87	88
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	86	91	92	78	86	73
(豊かな心) ともだちを大切にできる子ども	1	誰とでも仲良くする	93	98	94	89	93	100
	2	相手の思いや考えをよく聞いて大切にする	98	96	92	86	100	100
	3	相手の気持ちを考えて行動する	91	89	96	87	93	100
(健やかな体) まいにち笑顔で過ごせる子ども	1	自分の体や心を大切にする	94	91	98	99	100	100
	2	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	87	91	97	92	67	93
	3	進んで外遊びや運動をする	78	92	81	73	60	69
(学校独自の取組) チャレンジしながら考えて話せる子ども	1	興味をもって学習に取り組んでいる		90				100
	2	学習中に楽しく話し合い活動を行っている		91				87
	3	課題や問題に自分から進んで取り組む		90				88
学校独自の取組 (保護者)	1	子どもが学校での出来事などの話をよくする			(96)	77		
	2	子どもの宿題や学習ノート、学校からのお便りなどを見る			92	93		
	3	本をよく読んでいる。		70		46		

主な成果と課題

<学校生活>

今年度、新たに目指す子ども像として、「チャレンジしながら、考えて話せる子ども」を掲げています。自分がチャレンジしようと思っているかを尋ねたところ、90%の子どもたちが、チャレンジしようとしていると答えていました。内訳をみると、43%の子どもたちが「よくできている」と回答しています。保護者から見ても子どもたちはチャレンジしようとしていると思うと回答していただいた方が83%います。積極的に挑戦しようとしている子どもたちの気持ちを大切に、後期も意欲的に学習などに取り組んでいってほしいと思います。

<もっと学びたいと思える子ども>

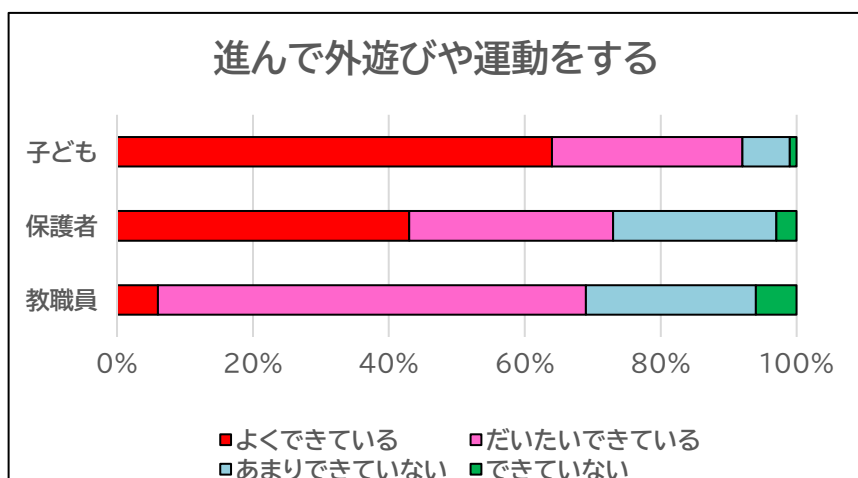
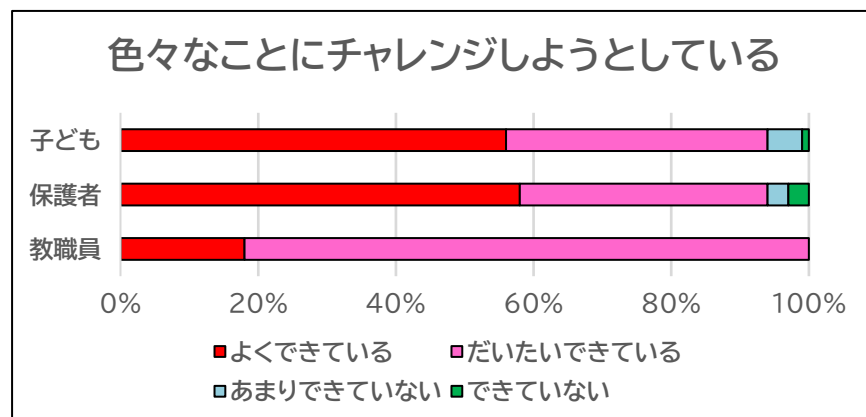
「授業はよくわかる」という子どもは96%いました。昨年度より、理解度は高まったようです。今年度、算数と理科の教科の学習に重点を置き、研究を進めています。算数については、帯時間にどんどんプリントを行い、基礎基本の定着を図っています。このような取組も子どもたちの理解度が高まった要因であると考えます。引き続き、基礎基本の定着と興味をもって学習に取り組めるような授業展開の工夫に力を入れていきたいと思ひます。

<ともだちを大切にできる子ども>

3項目とも、実現度は高く、本校の子どもたちが友だちのことを大切にしようと思ひて、人に接していることがよくわかります。毎月の朝会では、「人権の日」としてテーマを設けて多様性を認め合うことや心身を大切にすることなどを学んでいます。今年度は、6月に、1週間、掃除や遊びを異学年と行うたてわり週間を設けました。毎日会うことで、早くに名前などを覚え、仲良くなっていました。10月末の全校遠足では、たてわりグループで行動したり、遊んだりしました。今後も様々な活動を通して、自分自身や友だちを大切にすることを育んでいきたいと思ひます。

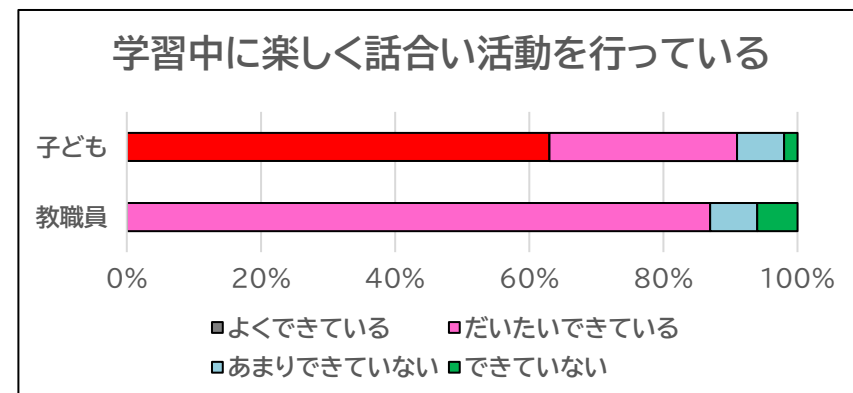
<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

コロナが5類になったことで、生活習慣が少し落ち着いてきた感じを受けます。「進んで外遊びや運動をしている」と答えた子どもたちは、昨年度の夏頃(第1回目のアンケート)では、82%でしたが、今年度は、92%となりました。安心して、友達との外遊びなどを行っていることが分かります。しかし、保護者から見た子どもたちの様子は、73%と低めです。保護者の方から見ると、子どもたちは、外遊びや運動をそれほど進んで行っていないようです。夏の猛暑の影響もあるかと思ひます。気候がよくなった秋の時期に、たてわり遊びや全校遠足などを通して、外で元気よく遊ぶ機会を増やしていきたいと思ひます。



<学校独自の取組(子ども)>

昨年度に引き続き「対話力」の育成に取り組んでいます。「学習中の話合い活動(対話)を楽しんで行っている」と答えた子どもは、「とても楽しんでいる」63%、「大体楽しんでいる」28%と合わせて91%と多くの子どもが友だちとの対話を楽しんでいることが分かります。また、「話し合い活動を行うことで、考えは深まっていると感じている」と答えた子どもは、92%いました。自分の考えを深めるためにも有効な活動になっているようです。今後も、子どもたちが対話を通してより学習に意欲的に取り組めるように学習を工夫していきたいと思ひます。



<学校独自の取組(保護者)>

「本をよく読んでいる」と答えた子どもは、37%、「本を読んでいる」と答えた子どもは、33%でした。進んで読書をしている子どもは70%と、少なかったです。家庭でも、「本をよく読んでいる」と答えた保護者は46%とさらに低かったです。ただ、お家でも本に親しむために以下のような色々な手立てをされていました。

- ・目の付くところに本を置くようにしています。／手の届くところに色々な種類の本を置いています。
- ・図書館や本屋によく一緒に行くようにしています。
- ・一週間に1冊は本を読むように促しています。
- ・寝る前にテレビを消して、寝室で本を読む流れがあります。／読み聞かせをしています。

例年2学期後半に行っていた選書会を今年度は、6月に行いました。子どもたちは、選んだ本を手に取りながら、喜んで読んでいる姿がありました。これを機に読書に親しんでほしいと思ひます。

費用について

○子どもたちの学習、安全に過ごすために必要な費用を使われていると思ひます。

⇒今後も、子どもたちの学習や生活のために必要なものを購入していきたいと思ひます。

自由記述について

○色々チャレンジしたい方ですが、あまり色々なことにチャレンジできていないように感じます。

⇒「チャレンジ」は今年度の取組の一つです。積極的にチャレンジできるように、雰囲気作りも必要です。学級、学校で子どもたちが、やってみたい！と思える機会を作っていきたいと思ひます。

○色々な先生と話す機会があり、早く馴染めたように思ひます。楽しく学校に通っているので安心しています。

⇒担任だけではなく、色々な教職員が子どもたちに関わるようにしています。皆で子どもたちを見守っていきたいと思ひます。

学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については、12月7日(木)の学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。「子どものよさを見つけ認め合うことが大切だ。」「ICTを使えば、学校内だけでなく、もっと広い視野で活用していけるのではないか。」などのご意見が出されました。いただいたご意見をもとに、今後とも学校と家庭と地域が同じ姿勢で子どもたちを育てていきたいと思ひます。ご支援・ご協力をお願いします。